

第3回鎌倉駅西口駅前広場整備に関するアドバイザー会議議事概要

1	日 時	平成 29 年 10 月 30 日(月) 9:30~11:20
2	場 所	大船駅周辺整備事務所 1 階会議室
3	出 席 者	<p>アドバイザー：大木アドバイザー (株式会社オクトプランニング&デザイン代表取締役) 志村アドバイザー(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授) 福岡アドバイザー (東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授)</p> <p>鎌倉市(事務局)：拠点整備部 前田部長 宇高次長兼再開発担当課長 再開発課駅周辺整備担当 菅原係長 佐藤職員 再開発担当 中山職員</p> <p>株式会社緑景(受託コンサルタント)：木原横浜事務所長 益子技術部チーフ 鈴木技術部チーフ</p>
4	議 題	<p>(1) 鎌倉駅西口駅前時計台広場の再整備に関する整備方針(素案)について (2) パブリックコメントについて</p>
5	議事要旨	<p>鎌倉駅西口駅前広場について、資料をもとに説明を行いました。主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整備方針(素案)及び配置検討図案について ・喫煙所を廃止することを前提としているので、その分スペースが広がり、集合場所等に利用できるため、どの案を見ても利便性は向上している。 ・現在の広場は、通路と待合せ・休憩場所の2つの機能がある。混雑時を考えると、本来の機能とは違うが、通路機能を確保する必要があるのではないか。 ・現在、人だまりの真ん中が、人が通る動線となっており、人だまりスペースが分断されている。 ・広場の外側を通路として通ってもらいようにし、人だまりは人が憩えるスペースとするべきではないか。 ・地下道に繋がる通路に面した北東部分の出入口の位置をどうするかによってくる。 ・夏場の暑さを考慮すると、パーゴラ等を活用して日陰を生み出す必要がある。 ・手狭な広場なので、桜の木の根元付近は、植栽ではなく、人が行くことができるスペースとしたほうが良いのではないか。 ・人だまりスペース等の機能を優先して、植栽等の緑を大幅に減らすことは止むを得ない。 ・地下道への歩行者動線と人だまりスペースを分離することによって、広場の北の奥側は、ゆっくり休むためのスペース、中ほどは、待ち合わせや短時間の休憩のためのスペース、手前は、遠足やハイカーが集合場所として使えるスペースとしてはどうか。 ・ソメイヨシノの寿命を考慮すると、段葛のように、現在の桜の後継として新たに桜を植樹するのも良い。

	<ul style="list-style-type: none">・図面ではデッキやベンチ、パーゴラ等を配置しているが、維持管理等の費用を考慮したうえで、材質は再生木材等を使用して温かみを出せると良いのではないかな。・テラスやデッキ、植栽帯は曲線を基調とした形状ならば柔らかな感じが出てよいのではないかな。・パブリックコメント実施時には、図面上に人を配置してみると、市民にとってより理解しやすくなる。○ その他<ul style="list-style-type: none">・将来的な広場の管理を見据えると、自販機を設置し、その売り上げを管理費に充当したり、イベントの時に有料で使ってもらえることなども考えても良いのではないかな。・実験的に、広場をマルシェ等に利用できるかも考える必要がある。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------